

令和3年度高崎市総合教育会議 会議録

日 時 令和3年12月16日(木) 午後2時00分から午後2時48分まで

会 場 庁議室

出席者

(市長)

富岡賢治

(教育長)

飯野眞幸

(教育委員)

| | | | | |
|----------|------|---|---|-------|
| 教育長職務代理者 | 塚田展子 | 委 | 員 | 重田誠 |
| 委 | 神宮嘉一 | 委 | 員 | 田野内明美 |

(事務局)

| | | | |
|----------|------|----------|------|
| 教育部長 | 小見幸雄 | 学校教育担当部長 | 山崎幹夫 |
| 教育総務課長 | 小池郁生 | 文化財保護課長 | 角田真也 |
| 教職員課長 | 岡田朝夫 | 学校教育課長 | 橋爪幸雄 |
| 健康教育課長 | 長岡誠 | 教育センター所長 | 永井智幸 |
| 教育総務課長補佐 | 宮澤信宏 | | |

| | |
|-------|--|
| 教 育 長 | <p>これより令和3年度高崎市総合教育会議を始めさせていただきます。 最初に、富岡市長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> |
| 市 長 | <p>お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。大きな懸案はあまりないのですが、1つ目は「コロナ」のことです。教育委員会と学校の先生方が日常的に努力してくださり、クラスターが学校で発生していないのは、大変な難いことだと思ひています。引き続き、油断しないようお願いします。</p> <p>2つ目は「いじめ問題」です。先日、教育長がNHKの番組に出演して、高崎市を宣伝してくださいました。大変熱心に取り組んでくださっています。特にユニークだと思うのは、子どもたちが中心となって、いじめを防止するプログラムに沿って取り組んでいることです。私個人の意見として、少し足りないと思ひているのは、働き方改革という制度がありますが、生徒指導が緩くなっていると思ひていまして、昔は嫌がられても何としても生徒指導の先生が取り組んで汗をかいたものです。最近はそのように少し迫力が欠けてきているのではないかなと思ひています。スクールカウンセラーや福祉カウンセラーなど、色々な専門家のお力添えをいただくシステムにしたことが逆効果になっているようです。2、3週間に1度の来訪のカウンセラーの方にいじめをなくすことは無理でしょうし、相談する時間ありません。お知恵をお借りするというシステムを作ったことで、その方に委ねてしまうという雰囲気になつてきているようで私は疑問です。先生方が頑張っていますので、お尻だけ叩くという訳にはいかないのですが、少し緩いかなと思ひています。</p> <p>3つ目は、これも教育委員会が頑張つて上手く指導していただいている「学力アップ大作戦」です。地域住民の方のお力を借りて、基礎学力を上げていこうというもので、補習等を地域でやっただけ取組ですが、その成果かどうかは分かりませんが、高崎市は学力全体において大変高いスコアが出ています。これは有難いことだと思ひています。これも私の個人的な意見ですが、高崎市の子どもは少し安定志向になっているのではないかなと思ひます。進学先がもうひとつだなと思ひます。多少チャレンジするような雰囲気を醸成していかなくてはならないと問題意識を持っています。しかし、良くやっただけいなと思ひます。</p> <p>4つ目は、いじめに関係するのですが、子どもの特に小さい子の周辺で起きている虐待死です。高崎市から虐待死は出さない、高崎市の子どもは高崎市で守るという固い決意でやっただけいなと思ひており、問屋町に児童相談所を設置することにしました。高崎市の子ども虐待等は、県の西部地域の児童相談所で対応してもらっていました。よくやっただけいな思ひているのですが、多少感覚がもどかしいことがございました。高崎市でしっかりやるように準備を進めています。1番の問題は専門家の方が揃うかということです。これは塚田先生の分野ですが、大学院で育つた専門家の数はいるのですが、論文を書く人を集めるわけではなく、話も通らない親を相手に説得するとなると、無理やりドアを開けてでも、引きはがしてでも、そういうことをやれる専門家を揃えたいということで、行動する児童相談所にしていきたいと思ひます。努力はしていますが、そういうガッツのある人がなかなかフリーでいるということがない状況です。集めるのは難いと思ひますが、大学で資格を取つた学力が良いという研究者を集めても仕方がないので、行動力のある専門家を揃えるために、ハローワークで募集をかける、それから臨床心理士や児童福祉士など、その世界で読む出版物、広報媒体などを使う、それから、それぞれの児童相談所の本当にガッツのある人、警察にもそうした心ある警察官OBがいないかなど進めています。また、事務方にもしっかりやっただけいな思ひないので、そういうことに対応する能力や経験がある、例えば福祉関係で長く仕事をしていた方で、生活保護の受給者等の窓口対応をやっただけいな</p> |

| | |
|-------------------|---|
| <p>教 育 長</p> | <p>た方や、とても大変な訪問者を相手に日々苦労した経験がある、こういう新しい分野に意欲を示した職員が人事異動の対象に入っています。ただ、専門家の資格を取ってもらう方が良いのではないかとということで、4月から市で財政負担をして資格を取ってもらう予定です。「行動する児相」という考えで、準備をしているところです。問屋町駅を降りたすぐの一等地に児童相談所をつくるということで、問屋町の民間企業の方々は、商業地域にそうした施設を持って来られてもという方も多少いますが、私は決意がありまして、不遇な家庭、不遇な子ども、あるいは色々な複雑な事情を抱えている家庭の相談にのる児童相談所というのは、良い場所になくはない、山奥の方にするのではなくて、相談に来る時にオープンな感じの所につくるのが私は正しいと思っています。全体として、高崎市の子どもの安心・安全を確保できるように進めていますので、よろしくお願ひします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>この会議は、教育委員と市長が意見交換するという事が目的になっています。限られた時間でありますので、それぞれ一番関心のあるテーマで話をさせていただけたらと思います。それでは、着任順で塚田教育長職務代理者から口火を切っていただけますか。</p> |
| <p>塚田教育長職務代理者</p> | <p>それでは、私からお話をさせていただきます。</p> <p>この1週間程度の中に、ヤングケアラーやいじめに係る「日曜討論」、児童相談所の開設といったお話の中で、耳に残っているのは「高崎市の子どもは高崎市で守る」というキーワードです。ヤングケアラーの問題は、中・高校生で家族の介護やきょうだい等の世話をしている子どもたちに対して、全国に先がけて来年度から実施されるということをお聞きしました。実に心強いです。これこそ、やはり「ひとりの子どもを守る」ということに繋がると思います。いじめの問題も同じで、平成25年だったと思いますが、第1回の「いじめ防止推進協議会」が開かれました。非常に速い動きだったと思います。先程の市長のお話に対し少し緩いのではないかとありましたが、これができた時の原点にもう1回戻らなければならないと思います。あの頃、みんなで必死になって何とかいじめをなくそう、いじめられた子に焦点を当てて、サポートしようではないかという流れでやってきました。子どもたちが中心になって絵で表現したり、年に1回集まって話し合う中でいじめをなくすような宣言を出したりと、すごい動きをしていると思いました。これを市の中で、教育委員会と教員の中で話をしても、それで終わってしまうのですが、多くの人たちに伝えるという事は宣言と同じだと思います。社会の多くの人たちも注目してくれて、子どもを守ろうではないかという意識が高まるのではないかと考えています。そういう意味では、他よりも非常に先に動いてくださっていることは、重要な意味合いを持っているのではないかと考えています。おそらく、マスコミも注目してくれそうですし、多くの地域の人たちも注目すると思います。みんなで子どもを守ろうという高崎市の方針に非常に沿う形だなと思います。少し耳の痛い、臨床力のない心理士についてのお話ですが、おっしゃるとおりで、人と人が関わるわけですので、実践力のある、あるいは行動力のある、またはアウトリーチのできる、そういう人物でないといけないので、それは大いなる課題だろうと思っています。</p> |
| <p>市 長</p> | <p>私は文部省でずっと仕事をしていまして、初等・中等教育で審議官時代に、いじめの総合実態調査をしました。その時に分かったのですが、いじめというのは、起こるのはなかなか避けられないのですが、いじめが発覚した時に教員が関与したとか、いじめがどういうふうになるかとか、密告するともっと壮絶ないじめに繋がると言いますが、その後の対策によって実態は違います。先生が介入したら</p> |

| | |
|-------------------|--|
| | <p>どうなったかと聞くと、いじめが酷くなったというのは1、2パーセントです。先生が介入したらいじめがなくなったとか、いじめられることが少なくなったとか、子どもがそう言っていることが多くなりました。適切な介入をすればいじめがなくなるかは別にして、いじめられている子どもの状態が良くなるというのは間違いないです。現場がそういうことを知って努力しているかどうかということが1つです。実際そういうデータが出ています。また、いじめの加害者になっている親御さんに「あなたの子どもがいじめの加害者と知っていますか」と言うと、いじめをしていることを7割くらいは知らないです。それで、「あなたの子どもが大変ないじめをしているから、何とか親御さんも努力してください」というと、「何を言っているのですか、そんなことはありません」というところから始まり、人間の泥臭い、悪い部分が出てくるのです。</p> <p>2つ目に、30人、40人くらいで学級を編成していますが、教員と市役所の事務の仕事は違いますが、40人を越えた課では、係の職員の体調が悪いなど気が付かないこともあるでしょうが、20人くらいだと大体把握できます。いじめられていて、暗い顔をしている子を気が付かないというのは、相当教員のレベルが低いと思います。人間は変わりませんが、やはり努力が必要です。それを教員の方々にわかってもらうより、子どもの方から声を上げさせるという方法が良いと思います。私は、中学校で壮絶ないじめを受けました。その時に全く先生に相談する気が起きなかったです。何もしてくれないことはわかっていますから。相談した時に、対応できる先生と教頭や校長がしっかり動くシステムでなければ、何もしてくれないと思えば言わないです。対応してくれる範囲というのは限られています。改善すれば必ず良くなる、そこへ繋げる方法が何とかならないかと思えます。子どもたちを動員したいいじめ対策をしても、子ども代表は生徒会長などが集まっているのでしょうか。生徒会長はいじめとは関係ないです。私も生徒会長をしていましたが、いじめをする子どもにたどり着けないです。今も良くやったださっているのですが、その上でそういう心に届くような方法をもっと努力してやっていかなければと思います。それぞれの学校の知恵でいじめ対策をやっているのをあまり聞かないです。一生懸命にやってくれていることに間違いないのですが、国がいじめの数を調べてもナンセンスです。数が多い、少ないと言っていますが、その辺りは知恵を出さないと不断の問題です。</p> |
| <p>塚田教育長職務代理者</p> | <p>子どもの立場から言わせていただきたいのですが、今の子どもは心の内側がとても見えにくくなっています。以前のようにオープンに話をしなくなっています。特に、コロナということもあるのでしょうか、手法がSNSを使って見えにくい形でいじめをする。また、先生方も目を光らせていますが、見えないようにやるといじめられている子から聞きます。もちろん子どもは先生に言わないのですが、言えば学校に行きづらくなるから我慢をしているとのこと。とにかく仲の良いようなグループの中でやられるのだそうです。誰も見ていない放課後、帰る際に足を引っかけられたりするそうです。そこまでは先生方もついていくわけにはいきません。また、授業中や休み時間はどうなのかと子どもに聞くと「絶対わからない」と言うのです。親にも話さないと云いますから、そういう意味では、子どもの心の内側に入りにくくなっている現状もあるということです。</p> |
| <p>市長</p> | <p>昔もわかるようないじめはしていません。携帯やSNSが入ってきたので、少し難しいところですが、それは同じです。先生が現場を見ていなくても、先生が子どもたちとよく接していれば、ポロっと出るはず。よく接していれば大体分かります。教員の感性が磨かれてないように思います。これは研修で身に付くものではないです。そういう感性を鋭くするというのが必要ですが、何か良い方法はないですかね。</p> |

| | |
|----------------|--|
| <p>教 育 長</p> | <p>「研修で教員が変わるのか」ということは、ずっと頭にありまして、少しでも変わるような研修にできればと思っています。先程の市長のいじめの認知件数の話ですが、ご存知のように、文部科学省はそれまでの枠にはめながらいじめを定義してきたのですが、平成25年から、簡単に言えば心身に苦痛を感じたものは全ていじめとしました。ある学校で隣に座っている子に「消しゴムを貸して」と頼んで、貸してくれなかったことをいじめのアンケートでその子は書いているのです。担任が貸してくれなかった子に聞いたら「いえ、聞いていません」と、その子は耳が悪いのです。そうするとそれも心身に苦痛を感じたものだから、学校は報告するわけです。本当は誤解なのにいじめの認知という言葉で出てくるということに現場の抵抗がありまして、日弁連はその定義を変えるように意見書として出しています。市長が言われたように、いじめの数がどうこうではなく、中身で見てあげないとなのかなと私は思います。</p> <p>続いて、重田委員お願いします。</p> |
| <p>重 田 委 員</p> | <p>それでは、私からはコロナの感染対策についてです。</p> <p>高崎市は一般的な対策をきちんとやっています。特に、初期の頃から拡大PCR検査等を取り入れて、全体的なクラスターは非常に少なく、ほとんど無い状態なのですが、夏休みにとても数が増えて、9月の新学期に入るところは大変だなどと思っていました。幸いなことに学校ではクラスターがほとんどなくて、その辺に関しては非常に良かったと思っています。全国的な状況につきましても、感染拡大があり、東毛地区を中心に人口あたりにすると全国1位になってしまっていますが、幸い子どもの感染者は少ない状況です。高崎市はしっかりと感染対策しているのですが、今後、問題になるのは、変異株のオミクロン株は今までのデータから感染力が非常に強く、ワクチンを打っていても罹ってしまう率が高いことです。現在のところ、重症化とか死亡率は高くないのでまだわからないのですが、そこがあまり強くなければ比較的良いことでもあります。一般的にウイルスというのは、感染を繰り返して変異を繰り返していくと、自分たちも生き残る為に通常は弱毒化して感染力が上がるという形になるので、オミクロン株がそういうふうになってくれれば悪くないと思います。ただ、やはり問題はワクチンを接種していない子どもたちです。オミクロン株は、今のところワクチンを接種している若い人たちは重症化しません。ワクチンを接種していない子どもたちやワクチン接種をしている高齢者がかかった時に、どのくらい死亡者が出てくるかが未知数なので、そこは少し懸念しています。オミクロン株が入ってくると、おそらく第6波になると思います。その中でも、子どもたちは重症化しないと思いますが、それは未知数なので、今後もっと対策をした方がいいと思います。それがまず1点です。</p> <p>そしてもう1つは、5歳から11歳のワクチン接種が始まりますが、これに関しては色々な意見がありまして、アメリカの小児科学会は接種することに積極的です。アメリカの子どもたちは400人以上亡くなっていますし、小児の重症例があります。ですから、子どもでも積極的にワクチンを接種しましょうと小児科学会は提言しています。日本でも小児の重症例はいくつかありますが、死亡例はないので、ワクチン接種は慎重にやりましょうと進めています。正式なステートメントはまだ出してないのですが、ワクチンに関しても最終的に社会がもとに戻るためには、子どもたちも抗体を持っていないければなりません。子どもはワクチンを接種した際に心筋炎を起こすことがありますので、その辺も少し気を付けながらやらなくてははいけません。子どもたちを全て守るためには、どこかの形でワクチンを接種しなくていけないと小児科学会は考えています。</p> <p>高崎市は、感染対策としては非常に上手くいっていると思います。今後、ワクチンをどうするか、第6波が来た時にどうするか。さらにその先のウィズコロナ、アフターコロナに向けて、子どもたちの生活をより普通に、いつから戻していくか、どういうふうに戻すかなど、その辺が問題かなと考えています。</p> |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 市 | 長 | <p>お医者様や高崎市医師会には、大変努力していただきスムーズにやっていたいておりまして、大変有難く思っています。子どもの接種について、子どもに接種するなんて許せないという動きがありまして、それでスタートが遅れました。結果的に、高崎市民はバランス感覚が良くて、今、10代の接種率は7割超です。強制しているわけではないのですが、接種するようになってきたのは有難いことです。学校の先生方も感染対策をしっかりとやってくれています。良いことだと思います。</p> | | |
| 教 | 育 | 長 | <p>記者会見の際に、現在の接種率を公表するのですが、マスコミ関係の人たちから、高崎市は非常に高いと言っていただきますが、前橋市と高崎市の数値にかなり差があります。似たような状況の中でも、そういう成果は出ているのではないかという感じがします。</p> | |
| 重 | 田 | 委 | 員 | <p>高崎市は市で集団接種会場を設けて、そこで子どもたちも接種していくことにしましたので、12歳以上の接種率は夏休みの段階でかなり高くなりました。やはり、最初は新しいワクチンなので子どもたちに打って良いかと不安感がありましたが、実際はほとんど問題ないだろうということで接種が進みました。また、5歳から11歳については、全体的なデータを見ながら、子どもは症状が軽いのですが、症状が出ては困りますので、そこは少し状況を見ながら危険性に配慮し、やはり接種は進めていかなくてはいけないと思います。</p> |
| 市 | 長 | <p>今の内閣は現場を知らない方が多いと思ったのは、「学校で打つと強制みたいになり、打たない子がいじめられることになる、学校で打つのはいかがか」と文部科学大臣が仰っていたことです。その理由が、学校で全員が強制的にやるわけではないのだから、学校でやるのは馴染まないというのです。現実に沿っていないのではないのでしょうか。全員がやらないといけないという事はないでしょう。学校保健活動は、それぞれ子どもに合わせてやるのは少しもおかしくないことです。学校で接種してはいけないという事で、学校医さんにお手伝いしてもらう話がなくなってしまい出足が遅れてしまったのです。そういう学校現場を知らない方は、発言を控えていただきたいです。</p> | | |
| 教 | 育 | 長 | <p>それでは、次に神宮委員お願いします。</p> | |
| 神 | 宮 | 委 | 員 | <p>私からは、市長の冒頭の挨拶でも話がありましたが、学力アップ大作戦についてです。開始から8年経ちますが、私はこの2年程コーディネーターということで、毎週水曜日に学校に行って子どもたちに教えています。おかげさまで、学習の成果が数値的な面でも向上してきたということがうかがえ、嬉しく思っています。参加しているのは、塾に行けない、親に教えてもらえない子どもたちで、少し手助けや背中を押してあげれば分かるような子どもたちばかりなので、そういう場があることを知ることでもできて非常に良かったと思っています。また、コーディネーターをやってくださる方は、地域の心ある何とかしたいという気持ちを持った人たちです。地域の人材が活用できているということ、併せてそういう人たちと学校との結び付きが非常に強くなり非常に良いことかと思えます。今後でもできる限り継続していただきたいと感じています。</p> <p>一方で、比較的学力のある、才能のある子に対しては、同時期に始まった数学ジュニアオリンピック講座があります。子どもたちの力を伸ばす場面が設けられているというのも非常に良いことかと思えます。こういったことに関して、ご負担になることもあるかと思いますが、今後、各種展開していく中でひとつの検討課題かなとは思いますが、また、その学力に関してのいくつかの課題があるように思えます。大規模校と中小規模校との差、中心部もしくは山間部の学校との差が</p> |

| | |
|----------------|---|
| <p>市 長</p> | <p>あるのではないかとという検証をして、やり方を色々と考えていく必要もあるように感じます。市長も触れていましたが、その先の進路に明確に繋がっているかといえば、そこは検証しないといけないのですが、学力のある子は、中学や高校に入学する段階で、高崎市を離れて、1番できる子は、東京や埼玉の学校に行く子も今もかなりいるようです。市の教育を受ける中で、しっかりと学力を伸ばしていくことができたらと感じています。</p> <p>安定志向についてのお話については、やはり親の影響というのが非常に強いように感じています。やはり横並びという意識が強い気がして、それにつられて子どもたちもチャレンジする意欲よりも、親の言うことを聞いておこうとか、先生の言うことを聞いておこうとか、どうしても安定志向に走ってしまうかなと思います。また、教える側は、やはりチャレンジさせるとか、個性を伸ばすという所をもう少し大事にさせていただいてもよいのではないかと感じます。</p> |
| <p>学校教育課長</p> | <p>一応、5教科できるようにしてもらっています。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>ですから、幅も広くなりました。</p> |
| <p>市 長</p> | <p>ここはもっと強化したいとか、ここは足りないからウエイトを置こうとか話を持ってきてください。それから多少は謝礼を払うわけだから、コーディネーターには少し謝礼を多くするとか、そういう努力が必要です。</p> <p>また、社会全体の話なので進路は難しいです。東京へ通っている中学生は、正確には数えていませんが100人位います。中には横浜・桐蔭や麻布・開成に通っている方がいます。これを行かせない方法は2つです。1つ目は、有名私学を持ってくるということ。2つ目は、私立中高一貫校用の特殊な塾を持ってくることです。塾を持ってくることに熱意を出すわけにはいかないので、一流の私学を持ってくる動きを多少私はしています。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>朝、高崎駅を時々使うのですが、コロナも影響もあるのかもしれませんが、改札を通過して行く中高生は、少し減ってきた感じがします。高崎市の教育が、それを防いでいるという意味ではないですが、少し減っている感じがします。</p> |
| <p>市 長</p> | <p>それと、もう1つは、太田の国際学校に通っている方が数十人規模でいます。先程の一流大学や一流高校に行くというのは、行政が対応するのが難しいのですが、小・中学校でインターナショナルスクールに持っていかれるというのは、少しいかがかと思います。語学教育をしっかりとやる必要があると思います。</p> |
| <p>神 宮 委 員</p> | <p>くらぶち英語村がありますので、もう少しそこを広く市内と結びつきができると良いと思います。特に英語という語学はとても惹かれますから。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>神宮委員より、学力アップで成績が上がってきたことや英語の話が出ましたが、去年は学力テストが国の方はありませんでした。一昨年に初めて英語の中3対象のテストがありまして、それは全国1位相当でした。これは市長がALTを全校に配置した、これが1番大きい要因かと思います。国語、算数・数学、英語が、今のところ全国上位です。これを維持していくのは、大変な難しい問題ですが、整えてくれました。</p> |

| | | |
|-----------|---|---|
| 市 | 長 | 市長に就任後2、3年して、吉井周辺に中高一貫校を持ってこようと思いきかけしました。あの地域は本庄などに1番近いのです。群馬県内の私学の学校法人の経営者に働きかけたところ、やると言った学校が2つありましたが、話を聞いているうちに駄目だと思いました。公立学校の先生のOBの考え方が違うのです。中高一貫校というのは、有名な講師の方などを校長に据えないと。話は立ち消えになったのですが、そういう志を持った学校法人がないわけではないのですが、実際は難しいです。 |
| 教 育 | 長 | では、次に田野内委員お願いします。 |
| 田 野 内 委 員 | | <p>私からは、上野三碑の関連事業についてお話をさせていただきます。順調に運行されている上野三碑の巡りバスですが、コロナの関係で利用される方が少し減ったかもしれません。今は落ち着いてきているところから、また来年度に向けては、利用される方も増えるのではないかなと思います。実際に乗車された方のお話では、「すごく巡りやすかった」「すごく分かりやすかった」「行きたい所に行けた」という意見を伺えました。</p> <p>また、上野三碑のかるたが出来上がりましたが、高崎市美術館の塚越館長の絵がとても素敵でした。塚越館長が全て描かれたという統一感があって、とても綺麗な絵だなと思いました。文字は高崎経済大学附属高校の書道部の生徒がお書きになったということで、非常に個性的で印象的な文字でした。高崎市独自の素敵なるたができたと思います。そして、そのかるたを実際に子どもたちにやらせようということで、学校にも配布することによって、少しずつ皆さんの目に触れていくのではないかなと思います。それから、かるたは読み手がいないと成り立たないのですが、その読み札のアプリを作ったということは、とても画期的だと思います。このアプリは、非常に使いやすく、ダウンロードをすると1つタップするだけで、すぐに読めるところに行く、もう1回タップするとすぐに読んでくれます。読み方も非常にゆっくりで、分かりやすくなっていますので、これはすごく良いアプリだと思います。11月3日には、かるた体験会が行われまして、40人くらいの方が参加をされたということです。これを機に、少しずつ浸透していくといいなと思います。その他にも、講演会や特別公開、カルタの原画展などもこの秋に開催されまして、とても好評だったと伺っています。今後、かるたの大会等もやっていけたらいいなと考えています。</p> |
| 市 | 長 | かるた大会やってください。上毛かるたは、何もしなくても子ども会がやってくれますが、子ども会に任せないで、教育委員会が意図的にやらないと集まらないです。 |
| 教 育 | 長 | 角田課長を中心に、今、実際に企画をしています。 |
| 市 | 長 | 実際にやってください。 |
| 教 育 | 長 | <p>時間がまいりましたが、市長は文部科学省出身者ということもありまして、よく見てくださっています。今後も声をかけていただけたらと思います。また、教育委員の方々につきましては、いつも本当に建設的な話をいただきまして、この機会を借りて、感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>以上で、令和3年度高崎市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p> |